

1. 学ぶ内容

災害伝言ダイヤル、災害用伝言板の特徴

2. ねらい

災害時、家族と連絡が取れにくくなることを理解し、万が一家族と離ればなれになってしまった時、伝言を残す手段のひとつとして、災害伝言ダイヤルがあるということ、また、その特徴について知る。

3. 授業の流れ

- (準備) ① 「もんだい」、「こたえ」のシートを印刷しておく(掲示用1枚 ※先生が使う)
② そなえチェックシート「災害時の連絡」を印刷しておく(全員に配布)

実施の流れ	内容	ポイント
導入 (3分)	<p>災害時には「連絡が取りにくくなる」ということをイメージする</p> <p>災害時は、家族と普段のように連絡が取れなくなるということを説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が起こると被災地への電話がつながりにくくなることを伝える(地震により被災地の通信設備に被害が出る、もしくは多くの人が家族の安否を確認するために被災地に電話をかけようとするため)。 ・また、家族と連絡が取れない場合、たくさんの人が家族の無事を確認するために家に帰ろうとする。その結果、道路や電車が混雑し、誰もがなかなか家に帰れなくなることを伝える。 ・1つではなく複数の連絡方法を知っておくことが大事だと伝える。 ※震災時の写真を見せると理解しやすく、有効です。
展開 (10分)	<p>災害時の有効な連絡手段について考える</p> <p>災害時にどうやって家族と連絡を取り合うのが有効か考えてもらう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の連絡方法にどんなものがあるかについて、子どもたちとやりとりをする。 ・ひと通りアイデアが出たら、「災害用伝言ダイヤル」という伝言を残す仕組みがあることを伝える。
	「もんだいシート」を提示する。	
	<p>災害用伝言サービスの特徴を知る</p> <p>HIGH&LOWクイズを通して、災害用伝言ダイヤルの特徴を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・もんだいシートを順番に掲示し、各もんだいに対し、「上」か「下」か答えてもらう(子どもたちに指で上下を示してもらうなど、身体を動かすと盛り上がります)。 ※準備問題だけ指文字を使って答えます。ご注意ください。 ・全員が上か下かを示したら、こたえシートを掲示し、解説書の内容を参考に簡単に解説する(答えシートを使わず口頭で説明しても構いません)。
まとめ (2分)	おうちのそなえチェックシート「災害時の連絡」を配る。	
	<p>学んだことをおさらいする</p> <p>連絡方法について家族で日頃から話し合っておくようすすめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日紹介した災害用伝言ダイヤルは、体験利用できる日があることを伝える。その日に家族で練習しておくことを促す。 ・集合場所、伝言を残す場所など、チェックシートにある内容は、家族で決めておいて欲しいと伝える。

もんだい

ハイ アンド ロー じゅんぴ たいそう
High & Low クイズ 準備体操

さいがい よう でん こん
災害用伝言ダイヤルは

17〇 でん わに電話をかける。

〇 はい すうじ ゆび おしに入る数字を、指で教えてください。

こたえ

1 (指で1を作った人が正解)

災害用伝言ダイヤルは、まず「171」に電話をかけ、流れてくる説明のとおりボタンを押し、メッセージを録音します。

もんだい
1

ハイ アンド ロー
High & Low クイズ

さい がい よう でん ごん
災害用伝言ダイヤルに

ろく おん かず
録音できるメッセージの数は

こ
「30個」よりも…



うえ した
上か下か



子どもに分かりにくいようであれば、「地震の後、電話がつながりにくくなったときに使う声の伝言板」など、言い換えましょう。

こたえ
1



こ
1～20 個

地震によって受けた被害の大きさによって録音できるメッセージの数は変わります。録音できない時のために、他の伝言サービスの使い方も覚えておきましょう。

もんだい
2

ハイ アンド ロー
High & Low クイズ

さい がい よう でん ごん
災害用伝言ダイヤルで

ろく おん じ かん
録音できる時間は

びょう
「60秒」よりも…



うえ した
上か下か



子どもに分かりにくいようであれば、「地震の後、電話がつながりにくくなったときに使う声の伝言板」など、言い換えましょう。

こたえ
2



びょう
30秒

とても短い時間なので、伝えたいことをきちんと残せるように、練習をしたり、読む文章を作ったりしておきましょう。

もんだい
3

ハイ アンド ロー
High & Low クイズ

さい がい よう でん ごん
災害用伝言ダイヤルで
ろく おん でん ごん ほ ぞん き かん
録音した伝言の保存期間は
しゅうかん
「1週間」よりも…



うえ した
上か下か



子どもに分かりにくいようであれば、「伝言を何日間預かってくれるか」など、言い換えましょう。

こたえ
3



しゅうりょう
サービス終了まで

電話会社が伝言サービスを終了するまで、伝言は残っています。

[最後に]

- ・クイズが全問終わったら、災害用伝言ダイヤル（電話を使った方法）の他に、携帯電話やパソコンを使って伝言を残す「災害用伝言板」という方法もあることも伝えましょう。
- ・次のページにある体験利用日を伝え、家族で練習しておくことを勧めましょう。



した ひ たいけん
下の日に体験ができます。
つか かた れんしゅう
使い方を練習しておきましょう。

- まい つき ついたち にち
毎月1日、15日
- がつ ついたち がつ みつか
1月1日～1月3日
- がつ にち がつ いつか ぼう さい しゅうかん
8月30日～9月5日（防災週間）
- がつ にち がつ にち ぼう さい しゅうかん
1月15日～1月21日（防災とボランティア週間）